

蒲生川大白沢

山域：南会津

6月22日～23日

メンバー：C L岸野、上茂、砂田、海保、松本（記録）

5:00 千葉

数日前から断続的に大雨警報が発令されていたが、行ってみましょう！と予定通り出発。雨は降っていないが塩原あたりで増水して濁った川が。。。雨雲レーダーをチェックすると数時間後には我々の後を追うように嫌な影に覆われる模様。しかし今回は釣りと山菜採りの沢泊が目的なので現地まで行ってみることに。福島に入ってから河川は静かで穏やかに見えた。これは行けそう！と飲み物の買い出しや只見駅を見学したのち11:30 沢装備をして歩き出す。

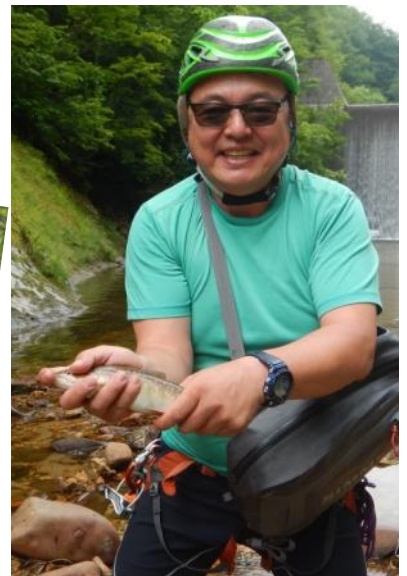


<会津のマッターホルン蒲生岳>



< 嬉しそうな表情の上茂さん >

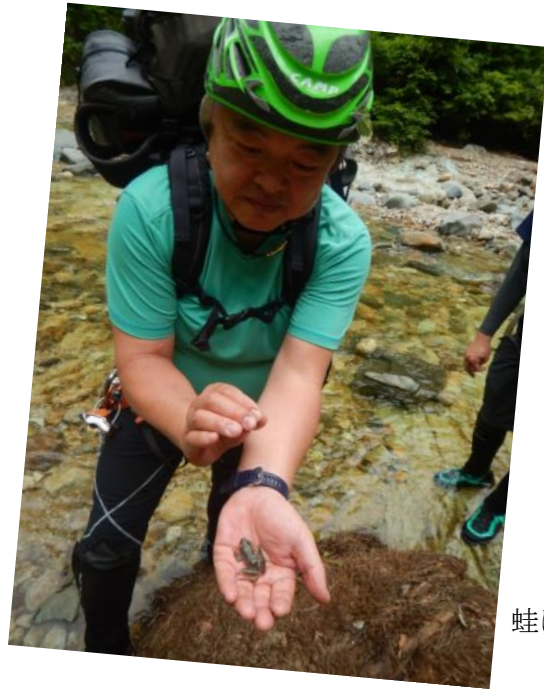
わらび採りの作業道から沢に降りる。15分程で堰堤が見える。 　　どうやら「ここは1級の釣り場だ！！」らしい。岸野さん、海保さんの釣り師二人はさっそく釣りを始める。



いきなり大きなイワナを釣った岸野さん、やったあー！お見事！　その後は岩魚は釣れなかったが雲行きも怪しいのでここでは粘らずに沢を登り始める。



だんだんとナメやターコイズ色した沢床が出てくる。



蛙にも優しい岸野リーダー



沢幅が狭くなってきて両岸が切り立ってきて更に狭くなると冷風が流れてきた。この先に雪渓がある様子。
ところが水に入らずしてゴルジュを超えるのは難しそうだ。海保さんが果敢にも偵察に行ってくれた。
これから夜にかけて雨の予報だし、増水したら戻るのが困難になりそうなのでここで引き返してテン場を探すことに。



13 : 45 入溪からおおよそ 2.8km 付近

400m ほど戻った左岸に良さそうな場所を発見。私は「ここで??」と思ったがさすが沢マスター達。
あっという間にタープ張りから火起こしまで済ませて快適なスペースを作ってくれた。
ロープマンを使った張り綱はぜひ覚えてたい。私はせいぜい薪集めと火を扇ぐ事くらいしかお手伝いできずすみません。



夕方から強い雨が降り始めるが大きなタープのおかげでゆっくりと宴会が出来た

<上茂さんの馬刺しから始まり皆で持ち寄り豪華な食卓>



<一度雨ざらしになったが油がのってて美味しかった>



<この解放感がたまりません>



土砂降り一度消えてしまった焚火を再度燃やしてもらえてとても有難かった。着替えなくても衣服が乾いていたので寒さを感じる事がなかった。
このあたりは個人差があるので経験が必要なのだろう。

幸い雨が上がったので焚火で二次会をして 10 時頃就寝。

明け方までぐっすり眠ってしまった。ブヨに顔を 8 か所くらい刺されたので次回は対策を立てよう。

翌朝 5:00 曇り空だが雨は降っていない

<火を起こしてもらいコーヒータイム>



<釣り人は朝食前に出掛ける⇒残念ながら釣果0>



朝ご飯は上茂さんがご飯を炊いて、昨日採れた山菜（うど、タラの芽、わらび）を天ぷらにしてくれた。
絶妙な衣具合でとても美味しかったし、揚げたそばから食べられるなんてとても贅沢。



<8:00 名残惜しいが撤収後記念撮影>

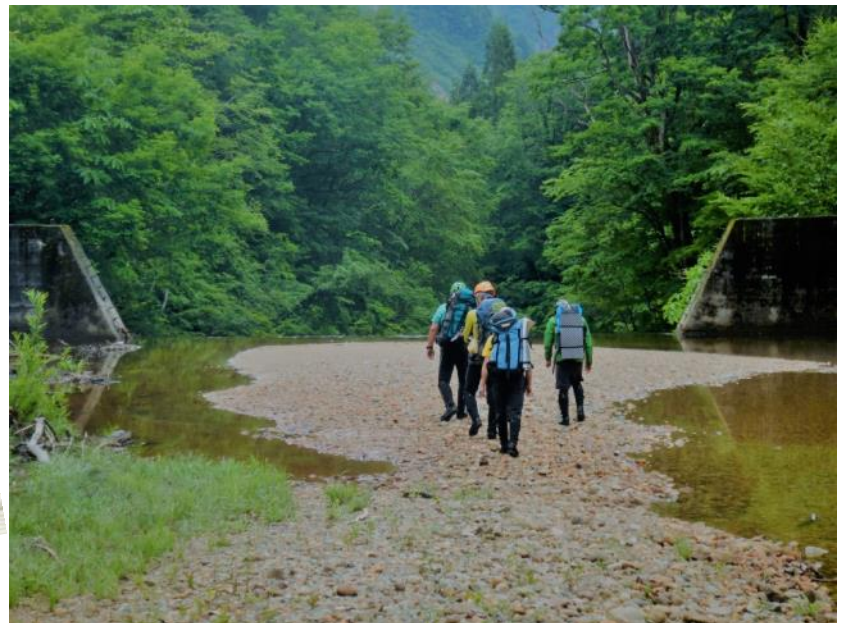


＜壊れた吊り橋？の場所を懸垂で降りる＞

＜釣り方も色々あるが
今回は海保さんはテンカラ、岸野さんはルアー＞



＜8：45 堰堤まで戻ってきた＞



10 時前に車に到着する。林道脇は広大な蕨畑になっていて所々で地元の方が作業をしていた。
立ち寄り湯「ひとつぶろまち湯」やスーパー、会津田島のラーメン屋に立ち寄り帰路につく。
その間、大雨警報が出たり晴れ間が出たりしたが濡れる事なく千葉に着いた。

不安定な天気の日間、大変な思いもせず、安心した気持ちでとてもものんびりできたのは
リーダー始めベテラン先輩方の準備と判断があったからに間違いありません。
プチ観光も出来てこんな形の癒しの沢旅もいいなあ。と思ったのでした。ありがとうございました。